

2016年度 第2回トライアル委員会ダイジェスト

開催日： 2016年11月17日（木） 午前10時30分～午後16時10分
開催場所： 東京・築地・MFJ会議室（東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F）

委員会改選

委員長 西英樹
副委員長 岩田稔、山本昌也

1. 前回議事録の確認

平成28年2月26日のトライアル委員会議事録が承認された。

2. 2016開催状況報告について

事務局より今年の開催状況が以下のとおり報告され承認された。

■全日本

全7戦、前年比98%（観客数）

エントリー台数前年比107% …IA98%減少、IB116%増加、レディースは1大会平均5名

■地方選手権（エントリー数前年比）

北海道	92%	※NB（70%）が特に減少
東北	120%	※NB（142%）が特に増加
関東	112%	※IB（145%）が特に増加
中部	96%	※NA（90%） NB（91%）減
近畿	119%	※NB（127%）が特に増加
中国	104%	※NB（119%）が特に増加
四国	112%	※NA（135%）が特に増加
九州	107%	※IB（124%）が特に増加

■全日本トライアル運営開催状況、PR内容報告の資料が事務局から提出され報告された。

- 全体としては収支は何とか黒字で推移することができた。（役員ボランティアの協力）
- トライアル競技会自体の継続、ライダーの参加継続など将来を見据えた施策を検討していくべき。
- 今後作業部会にて継続的に検証しPR等の施策を検討していくこととなった。

3. 2016年全日本ランキングについて

事務局より全日本選手権シリーズランキング報告されるとともにクラス昇格者が合わせて報告され承認された。新設されたレディースクラスの初年度女王は、西村亜弥選手。

4. 2017年主要競技会カレンダーについて

各主催者より提出された2017全日本TR日程が報告され承認された。

（全日本）

- ① 3月12日 まかベトライアルランド（茨城）
- ② 4月16日 湯浅トライアルパーク（和歌山）
- ③ 5月14日 玖珠トライアルヒルズ（大分）
- ④ 6月11日 HIROトライアルパーク（鳥取）
- ⑤ 7月16日 わっさむサーキット（北海道）
- ⑥ 10月8日 キョウセイドライバーランド（愛知）
- ⑦ 10月29日 スポーツランドSUGO（宮城）

■世界選手権日本GP：5月27～28日（栃木県・ツインリンクもてぎ）

■TDN：9月23日～24日（スペイン・Baiona）

■TRGC：11月12日（キョウセイドライバーランド・愛知）

■世界選手権 … 2017からプロモーターの交代により、アウトドアとインドアのシリーズに分かれ

る都合で日程変更された。

5. デ・ナシオン日本チーム参戦報告について

9月11日 Isola2000（フランス）で開催されたデナシオン大会で2位（優勝：スペイン）となったことが報告された。また作業部会にて検討された提案が提出され以下のとおり承認された。今後選考委員会を開催し実施していくこととなった。

2016 日本チーム団

日本代表選手 小川 友幸選手、黒山 健一選手、藤波 貴久選手
日本団長 西 英樹
日本チームマネージャー 小谷 徹

■2017TDN 事業計画案

- 作業部会でビジョンへの落とし込み
- 支援体制のご相談
- 選考委員会の早期開催（年初までに） → 2月～3月のTR委員会で承認
- MC ショウなどでのPR
- 募金活動

■コンセプト

- 男性チーム . . . 優勝を目指す
- 女性チーム . . . 上位入賞を目指す

■その他

自民党MS議員連盟・会長杯がMFJMOTO AWARDSにて授与されることが決定したことが報告された。

6. 2017年国内競技規則変更について

◆以下については変更・追加・削除された項目。※詳細については2017国内競技規則を参照

1、附則19 トライアル競技規則について

- 1) 5 セクション …追加項目有り
- 2) 5-10-1 ゲートマーカー…追加項目有り
- 3) 10 技術規則関連 …見直し

技術規則関連の主な変更点

- カテゴリー → 車両に表現変えた
- 排気量は規制しない
- トップカテゴリーであるIASはプロトが認められるがIA以下はMFJ公認車両とする。
- IASで使用した車両をIA以下で使用する場合、特別申請で承認されれば公認車両でなくとも使用を可能とする。（払下げで使用する場合、認める方法。エントリー用紙にて申請する）
- フレーム、エンジンの打刻で車検管理を行う。（エントリー用紙にて申告）
- ボア数値はFIM規則に準拠。
- 材質の変更
- ドライブスプロケットカバーの義務付け
- サイレンサーの形状
- ハンドルバーの変更、プロテクション装備の義務付け
- ブレーキ、ブレーキディスク、プロテクションを変更
- マッドガード、ホイールプロテクションの変更
- ホイールの変更
- ナンバープレートの材質などを変更
- 燃料、燃料／オイルの混合液、冷却水の変更
- 音量規制の数値の変更

- テレメトリーの変更

附則 21 トライアル基本仕様 → 全面見直改訂

附則 22 国内トライアルの使用 → 削除

■その他

- 競技用装備部会の決議にもとづき、ヘルメットの公認制度の改訂が行われることが報告された。
- 2017年公認マークは青色（国内競技規則書ヘルメット公認リストに公認期限が明記される）
- ウェアラブルカメラを含むGPS機能を搭載したデバイスなども装着が禁止される。(ステータスも含む)
- FIM規則を基準に、プロテクター装備の推奨を追記する。
- マウスガードの誤飲防止について追記する。

4) 公認制度の継続規定について

全日本中部大会で開催されたインポーター意見交換会で提案された公認車両の継続制度提案について以下のとおり作業部会で検討した内容が承認された。

承認 (MFJ 技術委員会承認済)

新規初回公認有効期限 10年
初回継続有効期限 10年
以後継続有効期限 5年 (以後継続回数制限無) へ改訂する。

5) 車体打刻の廃止について

全日本中部大会で実施したインポーター意見交換会で提案されたフレーム及びエンジン打刻制度廃止案について作業部会にて検討され、以下のとおり承認された。

車両変更 (メインフレーム、エンジン) を交換する場合、打刻が無く現場で打刻するのが困難なため車両変更時には、以下のとおりMFJ本部管理で用意されたアルミプレートを配布し各自耐熱エポキシで分かりやすい場所に添付する運用とする。

なおMFJ管理表にて各主催者に持ち回ることとする。

アルミ板に打刻を打ち、耐熱エポキシで接着させ、エンジン、メインフレームに添付する。

■プレート表示例

エンジン TR2017-E001~
フレーム TR2017-F001~

※プロトタイプなど打刻が明記されていない車両の管理としても採用。

→次大会からのエントリー用紙にプレートに貼付されたナンバーを記載すること。

※全日本で添付された車両を地方選手権で使用する場合も、プレートの番号は生きてると解釈する。

- 6) 11-4-1 罰金 …削除・追加項目有り
- 7) 16 同点 …削除・追加項目有り
- 8) 判例集
セクション関連 …変更
- 9) 環境への配慮 …変更

2、付則 20 全日本トライアル選手権大会特別規則について

5 参加資格

5-3 レディース …変更

7 ゼッケンナンバー

7-4 レディース …変更

9 車両検査

9-4 …追加項目有り

15 賞および得点 (ポイント)

15-2-3 …変更

スーパークラスのSSについて（決定 2017 年から）

- ✓SS出走には通常ラップリザルトIAS上位10位までとする。
- ✓スターティングマネーはSSに出走した選手のみに支払われる。
- ✓ザル掲示から10分以内が抗議時間（SSスターティングリスト確定までの時間・IASだけ）
- ✓IASのポイントは上位15位までの完走者に対して与えられる。

7. 2020ビジョンについて

事務局より規則変更について2020年ビジョンについて落とし込みが説明され、施策のとおり実施していくことが承認された。

8. その他について

1) メディカルパスポートの導入について

RDで推奨採用されている制度を他種目でも順次導入していくことが確認された。

※2018年の義務化に向けてパスポートを携帯しやすいサイズにする等検討を諮る。

2) 脳震盪への対応について

TRも脳震盪の負傷者発生率が高く、運営マニュアルに追加するので、各主催者で対応の参考とする。

出場可否は、医師の判断をもとに審査委員会で決定する。

負傷者の申し送りにより、医師の診断書を提出するなどのチェックを行う。

3) モーターサイクルショウ TRPRについて

現在東京・大阪MCショウでのPR活動をメーカーインポーターの協力も含めて実施準備を進めている。

MFJトライアル普及実行委員会として実施していくことが報告された。

4) 騒音計の新規購入について

老朽化した騒音計を購入する予定。全日本主催者積立金を利用することが了承された。

5) トライアル集計ソフトについて

競技方式の改訂に伴うソフト改訂の費用を全日本主催者積立金を利用することが了承された。

6) 2017FIM規則の改訂について

正式なリリースは無いが2017年度はWTR規則変更がある模様が報告された。

7) FIM規則と国内規則の一部解釈を統一できるように作業部会にて検討することとなった。

8) 第4章MFJ裁定規則について

事務局より中央審査委員会により、規律裁定規則が改訂されたことが報告された。

※レディース選手会からの報告

1) 活動報告

- ピンクリボン活動
- 熊本震災募金
- 観客向けアンケート実施
レディースクラスにもSSを実施してほしい。
- メディア活動（トークショー、専門誌、TV出演、SNSでページ作成
- 協賛活動

2) 課題

- 参加台数増加の為、出場資格を拡大 → NB ポイント獲得者、地区推薦者など
ライセンスホルダー女性：37名（全国）
- ファン増加に伴う出場ライダーの安全面の確保
主催者や委員でも保安体制に気を付けてほしい。公式通知にも掲載して啓蒙する
情報共有していく。
- 賞金や世界選手権参戦資金のスポンサー集め
- 技術向上（FIMトレーニングキャンプは有意義だった。また開催してほしい）